



群馬テレビ「みんなの時間」で、3月3日(火)、地域に支えられた綿打小学校児童の活動の様子が紹介されました。取材へのご協力をいただきましたことに、深く感謝をいたします。

ところで、3月になり、6年生は「卒業」、在校生は「修了」する時期を迎えました。「卒業式」に向けて、体育館での5・6年生の卒業式練習が始まりました。各教室では、朝の会で「ありがとうさようなら」を歌っています。お昼の放送時には、この曲が全校に流れています。

去る、3月4日(水)の朝礼では、「友達を大切にしましょう」という話をしました。これから進学・進級する綿打小児童の皆さんには、新しい出会いが待っています。友達を大切にしていって欲しいとの願いを込めた校長からのメッセージが伝わったと思います。

来たる、24日(火)の「卒業式」には、卒業生の皆さんの門出を皆さんとともにお祝いし、心を込めてお見送りをたいと思います。

今年もスクール・オブ・ザ・イヤー優良賞を受賞



本校では、保護者・地域の方々のご協力のもと、「環境教育」を全校体制で取り組んでいます。この度、平成26年度特色ある教育活動奨励事業「2014第4回ぐんまスクール・オブ・ザ・イヤー」で、本校から応募した「児童・保護者・地域と取り組む環境教育プログラム」の実践が優良賞をいただきました。この事業は、群馬県教育委員会の主催により、県内の優れた特色ある教育活動を募集し、それらの取組を行っている学校を表彰するものです。この度の受賞は、一昨年度(第2回)の「綿っ子」安全・安心プラン」及び昨年度(第3回)の「僕ら私らの作った校歌を歌おう」に続いて、3年連続での「優良賞」の受賞になりました。

本校の「環境教育プログラム」は、児童による「ISO活動」・「グリーンカーテン」・「リサイクル活動」、保護者・地域の方々のご協力による「資源回収」などの実践を通して、地球環境を守ろうとする活動です。本校は、ISO14001の認証を受け、水・電気・紙等の節約、牛乳パックやペットボトルのキャップを回収、紙を分別回収する「リサイクル活動」などを続けています。PTAによる「資源回収」もその一環になっています。

児童の取組には、「グリーンカーテン」があります。春には、各学級に面した花壇やベランダのプランターにゴーヤやヘチマなどの苗を植え、水やりを続けて育てます。夏の暑さの時期になると、「グリーンカーテン」が陽射しを避けることになり、教室の温度を下げ、天然のクーラーの役割を果たします。ゴーヤの収穫も楽しみの一つになっています。「リサイクル活動」としては、ペットボトルのキャップを回収するエコキャップ、牛乳パックの回収、アルミ缶の回収を行っています。PTAによる「資源回収」の収益金は、学校の教育活動の充実にもたいへん役立っています。

これからも、「環境教育」を継続し、将来に向かって、かけがえのない地球を保護者・地域の皆様とともに守っていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。

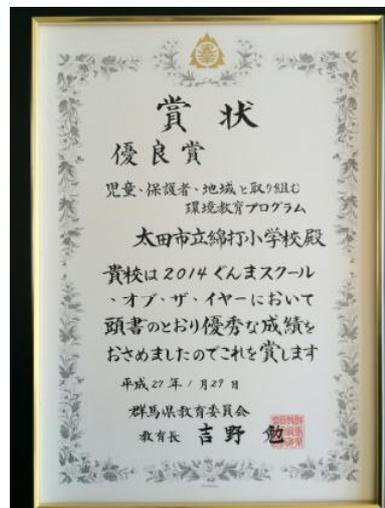
<綿打小学校の環境行動>

(4つの約束)

私たちは、かけがえのない地球を守るために、次のことを進んで行います。



- 1 水を大切に使います。
- 2 むだな電気は消します。
- 3 リサイクル活動をします。
- 4 家族や地域に呼びかけます。



【 優良賞の賞状 】



～ 「6年生を送る会」がありました ～

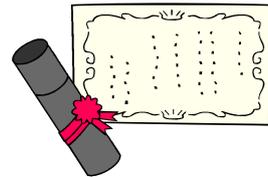


2月27日（金）、「6年生を送る会」がありました。6年生は、この行事を通して、卒業をすることへの意識をもち、綿打小学校への愛校心をもつことがねらいになっています。

また、在校生は、卒業していく6年生に対して、今までお世話になったことに感謝の気持ちを表したり、自立心や集団の一員としての自覚を高めたりすることがねらいです。

＜「6年生を送る会」プログラム＞

- 1 6年生入場（プラカードを先頭にして入場）
- 2 はじめの言葉（児童会）
- 3 在校生あいさつ（児童会5年）
- 4 各学年の出し物
 - (1) 1年生 「おむすびころりん」（物語）
 - (2) 2年生 「こぐまの2月」（リコーダー）と「子犬のビンゴ」（歌）
 - (3) 4年生 「オーラリー」（歌）と「いつだって」（歌）
 - (4) 3年生 「ラッスンゴレライ」（お笑い）と「パフ」（歌）
 - (5) 5年生 「キリマンジャロ」と「マンポーナンバーファイブ」（歌と合奏）
- 5 スライドショーの上映（卒業生に向けた学校生活の様子紹介）
- 6 職員の出し物 「Y E L L」（歌）
- 7 6年生へのプレゼントの贈呈（5年生代表から6年生代表へ）
- 8 6年生の出し物 「桜ノ雨」（歌）
- 9 校長からの話（6年生への激励の言葉）
- 10 全校合唱 「たんぽぽ」（2月の歌）
- 11 終わりの言葉（児童会）
- 12 6年生退場（在校生の列に囲まれて退場）



「在校生の出し物」では、各学年ごとに歌と演奏を披露しました。6年生は、学年ごとに工夫を凝らした出し物に真剣に見入っていました。スライドショーでは、6年生が辿ってきた綿打小学校での学校生活の様子が紹介されました。6年生は、スライドショーを観て、学校生活を振り返り、思い出を心に深く刻み込むことができたと思います。職員の出し物「Y E L L」（エール）の歌は、先生方が忙しい毎日の時間を縫って、練習の回数を重ねてきたものです。6年生に贈るエールが伝わったと思います。

第2回学校評価の結果を紹介します

第2学期末に実施した「第2回学校評価」の結果の概要をここに紹介します。

まず、児童についてみますと、「肯定的な回答率」が高い項目は、安全な登下校・緊急時の避難、チャイムを守ること、係・委員会活動や縦割遊びへの取組が90%を超えています。その一方で、低い項目としては、読書時間が週30分以上、授業中の課題への取組と発表、将来の夢についての家族での話し合い、自主学習の提出が80%を下回っています。

次に、保護者についてみますと、「肯定的な回答率」が高い項目は、通信等による学校生活の様子、子どもが相手への親切な言動、保護者会に出席してよかったと思うことが90%前後の数値でした。その一方で、低い項目としては、週3回以上の運動（体育をのぞく）、読書時間が週30分以上、将来への夢についての家族での話し合い、家庭学習の時間が60%台で、低くなっています。

児童と保護者の共通する課題としては、「読書時間を増やすこと」と「将来の夢についての家族での話し合い」をすることがあげられます。また、項目全体としては、学習習慣に関する評価が、児童・保護者ともに低い傾向がみられました。児童と保護者の意識の違いについてみると、保護者は児童に比べ、肯定的な回答が少ない傾向がありました。

このような結果を踏まえ、学校と家庭の協力により、学習習慣や読書習慣を伸ばしていくことが必要です。家庭においては、肯定的な見方ができるようにしていくことも大切です。